



市川團十郎 荒事の世界

2012.9.29. sat — 11.28. wed

●会場：日比谷図書文化館 1F 特別展示室

●開室時間：10:00—20:00 (土曜19:00、日曜・祝日17:00まで入室は閉室30分前まで)

●休館日：毎月第3月曜日

●特別展観覧料：一般300円 大学・高校生200円 千代田区民、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付添の方1名は無料

●主催：千代田区立日比谷図書文化館

●共催：読売新聞社

●特別協力：株式会社成田屋、松竹株式会社、松竹衣裳株式会社、藤浪小道具株式会社、公益財団法人松竹大谷図書館、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）

千代田区立 日比谷図書文化館 Hibiya Library & Museum

Hibiya Library & Museum 1st Anniversary Special Exhibition

DANJURO ICHIKAWA THE WORLD OF ARAGOTO

市川團十郎 荒事の世界

2012.9.29. sat — 11.28. wed

関連イベント

トークイベント [1]

「市川團十郎トークショー」

10月30日（火）11:00—12:00（開場10:30）
会場：日比谷図書文化館大ホール（コンベンションホール）
講師：市川團十郎
聞き手：葛西聖司（アナウンサー・古典芸能解説者）
定員：160名（抽選）
参加費：1000円（千代田区民500円）
お申込：往復ハガキ1枚につき2名までお申し込みいただけます。
往復ハガキの往信裏面に下記 ① ② ③ ④ の必要事項、復信ハガキの表面に代表者の方の宛先をご記入の上、下記受付係までお送りください。
必要事項：① 必ず参加者全員の氏名（ふりがな）
② 郵便番号・住所 ③ 電話番号 ④ 年齢
送付先：〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 日比谷図書文化館「市川團十郎トークショー」受付係
応募締切：10月1日（月）消印有効
※ 応募者多数の場合は抽選の上、当落の結果を10月12日（金）に発送（予定）いたします。
※ 重複応募は無効とさせていただきます。

トークイベント [2]

「歌舞伎衣裳の粋」お話と着付けの実演

10月20日（土）14:00—15:00（開場13:30）
会場：日比谷図書文化館大ホール（コンベンションホール）
講師：海老沢孝裕（松竹衣裳株式会社 専務取締役）
定員：160名（先着順 定員になり次第締切）
参加費：500円

トークイベント [3]

「歌舞伎荒事の魅力」

11月4日（日）12:00—13:30（開場11:30）
会場：日比谷図書文化館4階小ホール（スタジオプラス）
講師：今井豊茂（松竹株式会社 演劇製作部芸文室 室長）
定員：60名（先着順 定員になり次第締切）
参加費：500円
[2][3] お申込：Tel: 03-3502-3340
E-mail: college@hibiyal.jp
お問い合わせ：Tel: 03-3502-3340
千代田区日比谷公園1-4 日比谷図書文化館4階

*会期中ギャラリートークを開催予定です。
詳細は日比谷図書文化館HPをご覧ください。http://hibiyal.jp

千代田区立日比谷図書文化館 1F 特別展示室

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4
Tel: 03-3502-3340（代）http://hibiyal.jp
アクセス：
・東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C4・B2出口より徒歩5分
・都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩3分
・JR 東日本「新橋駅」日比谷口より徒歩12分
*当館には専用の駐車場がございません。
お車でご来館の際は近隣駐車場をご利用下さい。



四百有余年に及ぶ歴史を持つ歌舞伎は、我が国を代表する伝統芸能であり、二〇〇八年にはユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。その代表的な演技、演出のひとつである「荒事」は、元禄期に活躍した初代市川團十郎によって創始されました。
この度、開館一周年を迎える千代田区立日比谷図書文化館では、市川團十郎家と荒事に光を当てた「市川團十郎 荒事の世界」と題した記念特別展を催し、一周年記念と彩ります。
江戸時代初期、江戸の地では金太郎の幼名で知られる坂田金時の子で、剛力無



助六 花川戸助六



鳴神 鳴神上人



勘進帳 武蔵坊弁慶

○から幕末にかけて活躍した七代目團十郎は、天保三年（一八三二）に團十郎家のお家芸と歌舞伎十八番として制定したほか、屈指の人気演目として知られる「勘進帳」と初演するなど多大な足跡を残しました。
本展では、荒事の代名詞といっても過言ではない「歌舞伎十八番」のさまざまな演目の衣裳や小道具、そしてその周辺資料である役者絵などを展示し、代々の團十郎の足跡と荒事の魅力を紹介いたします。



↑芳幾画「擬九星市川系譜」大判錦絵五枚組 明治27年（1894）
表：香朝楼国貞画（三代国貞）「吉例 暫」大判錦絵五枚組 明治28年（1895）